



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012年12月7日以降にご同意いただいた方で

封入体筋炎と診断された方、神経筋疾患と診断されていない方

【研究課題名】

筋炎患者筋組織における薬物標的分子の発現量および発現分布解析

【研究責任者】

山崎高生（アステラス製薬）

【本研究の目的及び意義】

未だ有効な治療法が確立されていない筋疾患患者由来の筋生検試料を用いて、薬物標的分子の発現量および発現分布を解析して、開発薬物の筋疾患患者での有用性を推察するデータを取得する。

【本研究に提供している試料・情報】

筋生検試料

年齢、性別、服薬情報

【研究期間】

2021年5月10日～2021年12月31日

2021年5月

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520

e-mail: biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)